

大阪ガス

取扱説明書

保証書付

ガスファンヒーター(家庭用)

型番	140-9385型 140-9395型
型式名	RC-U5801E

もくじ

保証書	
1 安全上のご注意 (必ずお守りください)	
2 各部のなまえとはたらき	
3 お使いになる前に (機器の接続)	
4 お使いになる前に (現在時刻の設定)	
5 運転・停止のしかた	
6 室温調節のしかた	
7 スポット暖房運転のしかた	
8 ロックのしかた	
9 プザー機能について	
10 おはようタイマー運転のしかた	
11 おやすみタイマー運転のしかた	
12 おやすみとおはようタイマーを 組み合わせて使う	
13 エコ運転のしかた	
14 自動消火機能について	
15 仕様・寸法図	
16 日常の点検とお手入れ	
17 故障かな?と思ったら	
18 安全装置が作動したときの処置	
19 保管とアフターサービス	

必ず換気する。 使用中は1時間1～2回 (1～2分)程度換気扇を回すか、 換気をするなどして換気を 起こし、死に事故にいたるおそれ があります。	換気必要
---	------

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターをお買い
上げいただきまして、まことにありがとうございます。

よく読んで安全に正しくお使いください

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の一部が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使い方をされずと著しく機器寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- 製品を正しくお使いいただくためや、お客さまや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

■給表示について次のような意味があります。



ガス漏れに気づいたときは

- 絶対に火をつけない
 - 電気器具のスイッチの入 / 切をしない
 - 電源プラグの抜き差しをしない
 - 周辺の電話を使用しない
- 火災防止

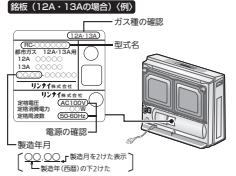
■ガス漏れに気づいたら、すぐに使用を中止する。



警告

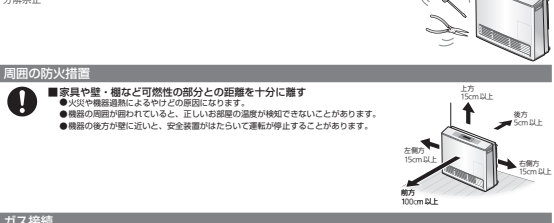
使用ガスおよび使用電源の確認

- 機器本体銘板に記載されているガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) 以外のガスおよび電源では使用しない
- 乾電池のガスおよび電源と使用ガスおよび使用電源が一致していない場合、不具合の原因になります。一度化炭素中毒になったり、異常点火や機器故障の原因になったりしますので使用しないでください。
- 転換された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。
- わからない場合はお買い上げの販売店、または、もよりのガス会社 (供給業者) に連絡してください。



改造・分解禁止

- お客さまご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造したりしない
- 一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
- 修理・改造・分解は高度な専門知識が必要です。



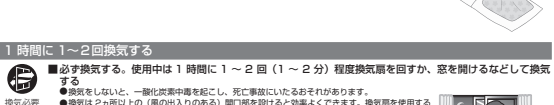
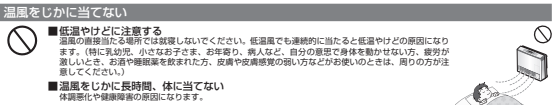
ガス接続

- ガスコードは必ず当社指定のものを使用する
- 接続の際にはガスコードが漏れに漏れやこみなどの異物がないことを確認し、確実に接続してください。
- 確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。



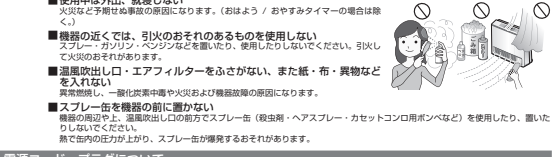
以下のガス接続厳禁

- スリムプラグ・機器用ソケット・ゴム管・クセゴム付ガスホースを使用しない
- ガスコードの上に物をせたり、踏めるまたは挟まれる状況で使用しない
- ガスコードが破損した状態で使用しない
- ガスコードを巻き足したり、天井などを通したりしない



- 必ず換気する。使用中は1時間1～2回 (1～2分) 程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する
- 換気をしないと、一酸化炭素中毒や窒息、死に事故にいたるおそれがあります。
- 換気は2か所以上の (風の出入りの) 開口部を設ける方がよくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けないと十分な換気ができない場合があります。
- 24時間換気中であっても、換気を行わない場合があります。

- 換気できない場所では使用しない
- 窓が狭い場所や地下室など、換気ができない場所では使用しない。
- 一酸化炭素中毒や窒息、死に事故にいたるおそれがあります。



- 火災予防、スプリー年鑑禁
- 機器の近くには、燃やしやすいものを置かない
- 機器の上や周囲に燃やしやすいものを置かないでください。また、可燃物 (家具、カーテン、洗濯物など) を近づけないでください。
- 火災の原因になります。
- 使用中は外出、就寝しない
- 火災は予め予め事故の原因になります。(おはよう / おやすみタイマーの場合は除く)
- 機器の近くでは、引火のおそれのあるものを使用しない
- スプリー・カーテン・ランプ・ジュンなど、引火しやすいものを置かないでください。また、燃やしやすいものを置かないでください。
- 室温吹き出し・エアフィルターをふさいでない、また紙・布・異物などを入れない
- 異物や紙類、一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
- スプリー年鑑を機器の前に置かない
- 機器の周辺や上、室温吹き出し口の前でスプリー年鑑 (絵巻物・ヘアスプリー・カセットコンロ用ボンベなど) を使用したり、置いたりしないでください。
- 熱の伝わりがよいため、スプリー年鑑が発火するおそれがあります。

- 電源コード・プラグについて
- いたんた電源コードと電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
- 電源コードやプラグの破損や差し込みがゆるい状態では、感電や火災の原因になります。
- 電源プラグを抜いて停止しない
- 機器の過熱の原因になります。
- 電源コードを持って引き抜かない
- 電源プラグを握ると、電源コードを持って引くと、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。
- 切断して延長しない
- 機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。感電や火災などの原因になります。
- 無理な力を加えない、重いものをのせたりしない、また、たばこまま使用しない
- 電源コードやプラグの破損や差し込みがゆるい状態では、感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使用や、交流 (AC) 100V 以外で使わない
- たこ配線などで指定された定格を超えること、発火による火災の原因になります。
- ぬれた手で抜き差ししない
- 感電や火災の原因になります。

- 電源プラグのこりこりなどは定期的にとる
- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。電源プラグにほりかたまった、濡気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグは根本までしっかりコンセントに差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電・発火による火災の原因になります。

異常時の処置

- 異常時は使用を中止して、ガス栓を閉じる
- ①点火しない場合や使用中に異常な燃焼、異常な臭気、異常な温度を感じた場合、または使用中で火災の発生を疑った場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉じます。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください)
- ②異常を感じたときは「18」故障かな?と思ったら、「19」安全装置が作動したときの処置に従う。
- ③上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、もよりのガス会社 (供給業者) に連絡する。
- 地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる
- つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。

注意

火災予防

- 厨房以外の用途 (衣類の乾燥など) には使用しない
- 衣類・毛布・シーンを乾燥にかけたまま、使用しないでおくことで、火災や燃やすすの原因になります。また、機器の劣化や故障の原因にもなります。
- 運転したまま持ち運びしない
- ガスコードが破損して異常燃焼の原因になります。ガスコードの接続が不完全になり、ガス漏れの原因になります。また、やけどなどの原因にもなります。
- 火のついたタバコ・線香などを近づけない
- 引火して火災の原因になるおそれがあります。
- 棚の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しない
- 落下物によって、火災のおそれや機器故障の原因になります。

設置場所

- 段差のある床面に設置しない
- 湿気の多い部分で変色したり、ヒビ割れたりすることがあります。
- (高さ100cm以上) 設置しない
- 電気カーペット・温水マットの上には設置しない
- 機器の重みで電気カーペット・温水マットが故障することがあります。
- 電気カーペット・温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。
- 室温吹き出し口の周りにギリギリ (格子) を取り付けない
- 室温が低下したり、動作が正常に行われず、火災の原因になります。
- ドアの近くに置かない
- 機器の前面や、やけどなどのおそれがあります。
- 特殊な場所に設置しない
- 浴室・温泉・動物園の飼育舎など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。
- 機器が破損したり、動作が正常に行われず、火災の原因になります。
- スプリーや化学製品を使用する場所および給水の多い場所 (理・美容院、メッキ・塗装工場など) では使用しない
- フロアガスや化学製品は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、材質劣化や異臭がしたる原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因になります。
- 機油や天ぷら油など油成分が浮遊している場所に置かない
- 機器の前面部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。
- 高温や多湿になる場所に置かない、保湿しない
- 機器の前面部がヒビ割れたり、破損したりすることがあります。
- 水のかかる場所に設置しない
- 機器が腐食・変色・腐敗や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。
- 漏れで感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 機器の上に花びんや金物などを置かない
- 漏れで感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。
- 水平なところに設置する
- 傾斜が大きい場合、室温調節が停止したり、室温の方向が変わり、室温の当たる部分が変色したり、ヒビ割れたりすることがあります。
- 毛足の長いじゅうたん・クッションフロア・その他で変色しやすい床面で使用しない
- じゅうたん・クッションフロアなどの変色や破損の原因になります。
- 電話の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
- お客さまご自身で処理する場合、感電を使用している機器は、必ず絶電状態を確保してから正規の処理を行ってください。

ご使用について

- 機器の上に置かれたり、のったりしない
- けがや、やけどの原因になります。
- 傾斜の多い場所に設置しない
- 機器の劣化によるガス漏れ、不完全燃焼など、機器故障のおそれがあります。
- くまじょうタイプ (発熱型) の殺虫剤、防虫剤を使用の場合は運転しない
- 機器の前面部が変色したり、ヒビ割れたりすることがあります。
- 殺虫剤、防虫剤を機器にかけたり、機器の近くで使用したりしない
- 機器の前面部が変色したり、ヒビ割れたりすることがあります。
- 室温吹き出し口の周りにギリギリ (格子) を取り付けない
- 室温が低下したり、動作が正常に行われず、火災の原因になります。
- エアフィルターを外して運転しない
- 機器内部へのほこり詰まりによる機器故障の原因になります。
- 室温吹き出し口に紙や鉛筆などを入れない
- 室温が低下したり、動作が正常に行われず、火災の原因になります。
- エアフィルターを定期的に掃除する
- 室温が低下したり、動作が正常に行われず、火災の原因になります。

- 使用中および使用後は、操作部、取っ手以外の手を触れない
- 操作部、取っ手は高温になっているので、手を触れないでください。また、やけどの原因があります。
- 室温吹き出し口に紙や鉛筆などを入れない
- 室温が低下したり、動作が正常に行われず、火災の原因になります。
- エアフィルターを定期的に掃除する
- 室温が低下したり、動作が正常に行われず、火災の原因になります。

- 小さなお子さまが遊んだり、いたずらしたりしないように注意する
- おもちゃなどをつぶさるおそれがあります。

- 電源コード・プラグについて
- 点検やお手入れの際は、必ず電源プラグを抜く
- 感電やけがをすることがあります。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガスコードの場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガスコードの場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガスコードの場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガスコードの場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガスコードの場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

- ガス栓を閉じる
- ガス栓を閉じる際は、ガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガスコードの場合は、ガス栓からガスコードを外してください。)
- 点検・消火の確認をする
- 使用時の点検、使用後の消火を確認してください。

